

## 日仏先端科学(Japanese-French Frontiers of Science: JFFoS)シンポジウムの再開が決定

日仏先端科学(Japanese-French Frontiers of Science: JFFoS)シンポジウムに係る覚書の署名式が6月26日に日仏会館で開催された。

先端科学(FoS)シンポジウムは、日本学術振興会が諸外国の対応機関との共催により実施している若手研究者研鑽事業の1つ。多様な専門領域を背景とする日本及び海外の新進気鋭の若手研究者が集い、専門領域の枠を超えて最先端の科学について議論を行う中で、広い学問的視野を持つリーダーとなる人材を育成すると同時に、既存の学問領域の枠にとらわれない自由な発想と独創性を更に発展させ、科学の進歩へと貢献することを目的としている。対象は、開催年度4月1日時点で博士の学位を有する45歳以下または博士の学位を取得後15年以下の若手研究者。

日本学術振興会(JSPS)とフランス国立科学研究センター(CNRS)との共催となる日仏先端科学(Japanese-French Frontiers of Science: JFFoS)シンポジウムは2015年を最後に開催を休止していたが、今回の覚書により再開が決定した。次回は、2020年11月に京都で開催される予定。参加研究者の公募は本年秋頃に開始される見込みである。



覚書署名後に笑顔で握手を交わす JSPS 里見理事長㊦と CNRS プティ理事長㊦